

(報道発表資料)

2023年5月25日

西日本電信電話株式会社九州支店

NTTビジネスソリューションズ株式会社福岡ビジネス営業部

障がい者雇用創出に向けた

「メダカのスマート養殖販売事業」の確立をめざした実証事業について

～糸島市庁舎にてサブスクリプション型ビジネスモデルのトライアルを実施～

福岡県糸島市（市長：月形 祐二、以下、糸島市）、西日本電信電話株式会社九州支店（支店長：梶原 全裕、以下、NTT西日本）、NTTビジネスソリューションズ株式会社福岡ビジネス営業部（取締役福岡ビジネス営業部長：中村 哲、以下、NTTビジネスソリューションズ）、株式会社ワールドスタッフィング（代表取締役社長：本多 信二、以下、ワールドスタッフィング）、障がい者しごと支援センター木の実（代表者：二本木 道則）は、障がいのある人の雇用に向けた「メダカのスマート養殖販売事業」の確立をめざし実証事業^{※1}を実施しています。今回、実証事業の第二弾として、「メダカと水槽のリース」と「定期メンテナンス」をセットにした定額制販売モデル（サブスクリプション型ビジネスモデル）のトライアルを実施します。

また、実証事業の第一弾のトライアルの成果と状況ができましたのでお知らせします。

※1 2023年3月9日報道発表

障がい者雇用創出に向けたメダカのスマート養殖販売事業の確立をめざした実証事業の開始について
<https://www.ntt-west.co.jp/newscms/kyushu2/12780/kyushu_n20230309a.pdf>

1. 背景・目的

NTT西日本は、糸島市といとしまちカンパニー合同会社の三者で締結した地域活性化に関する連携協定^{※2}に基づく取り組みとして、障がいのある人の雇用創出に向けた「メダカのスマート養殖販売事業」の確立をめざした実証事業を2022年度から実施しています。

そのような中、NTT西日本が地域活性化活動の一つとして「福岡県糸島市の自然を活かしたノーマライゼーション^{※3}の実現」をビジョンに掲げ、障がいのある人の雇用を創出し、経済的自立を支援しながら、自然豊かな糸島で働くことにやりがいを感じてもらうことを目的としています。

※2 2019年6月25日報道発表 地域活性化に関する連携協定の締結について
<<https://www.ntt-west.co.jp/newscms/kyushu2/11381/20190625.pdf>>

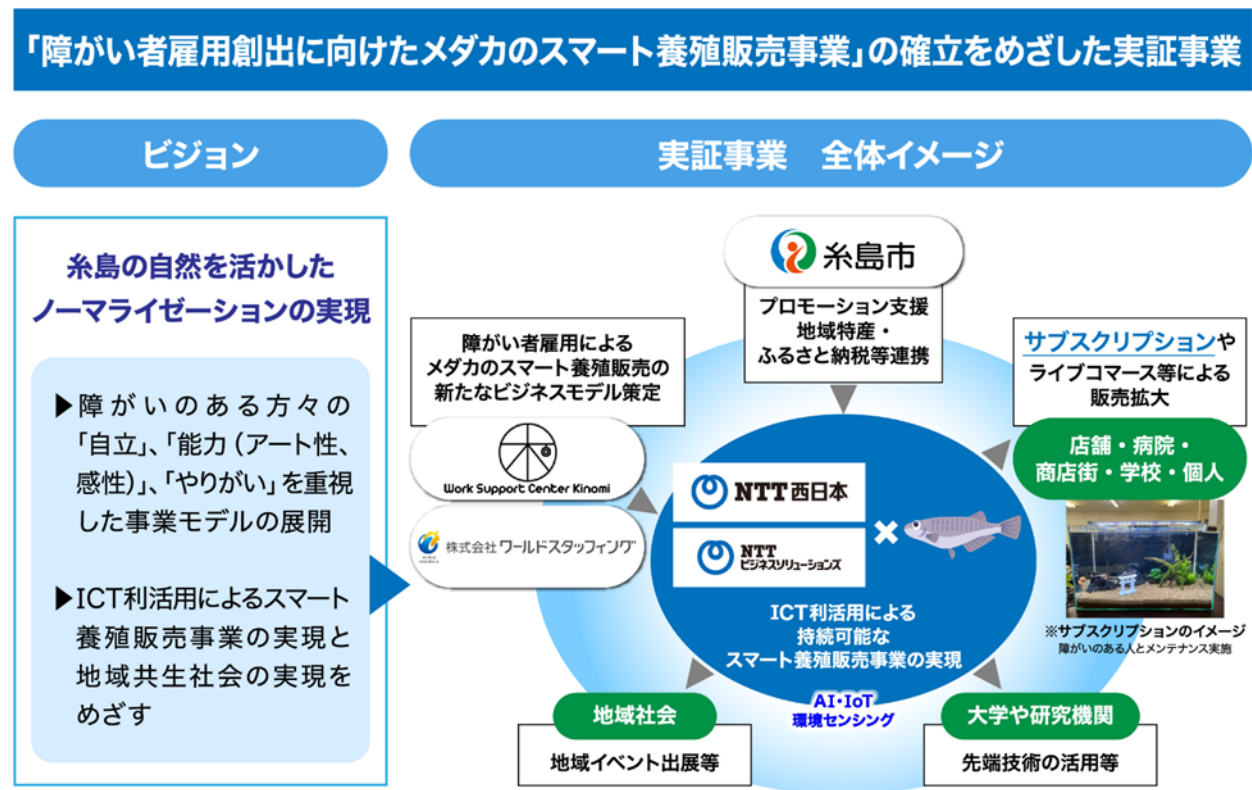
※3 障がいのある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会をめざすという理念

2. 実証事業の概要

障がいのある人の更なる雇用創出に向け「メダカと水槽のリース」と「定期メンテナンス」をセットにした定額制販売モデル（サブスクリプション型ビジネスモデル）の展開をめざし、糸島市長室前に水槽を設置し、来庁者や職員にメダカを鑑賞してもらいながら、水槽のメンテナンスやメダカの世話を障がいのある人が実際に行うことで、事業モデルの確認を調査することとしています。

- (1) 実証事業開始日 2023年5月18日（木）
- (2) 設置場所 糸島市役所本庁舎2階 市長室前カウンター
- (3) メダカ 色鮮やかなブランドメダカ
- (4) 実証内容 メダカの鑑賞・飼育を通じた社会的価値の効果測定、事業モデルの確認

【実証事業イメージ】



3. 今後について

本実証での成果や知見をもとに、障がいのある人が自分の能力を生かしながら、糸島のきれいな水、澄んだ空気のもとでメダカを育てることが「糸島しごと」として認知されることをめざします。

また、スマート養殖のパッケージ化による水平展開、サブスクリプション等による販売拡大、先端技術（A I ・ I o T等）活用などの新たな価値創造にも取り組みます。

4. 参加事業者と役割

■ 糸島市

フィールド提供、プロモーションや販路拡大へのサポート

■ N T T 西日本

社会課題解決に向けた地域活性化の推進、実証事業の企画・運営

■ N T T ビジネスソリューションズ

各種トライアルにおける ICT 環境整備、実証事業の運用、効果測定

■ ワールドスタッフィング

障がいのある人のマネジメント体制の確立、就業プラン策定と適正配置の確立

■ 障がい者しごと支援センター木の実

個人の才能や障がいの程度に応じた就業プランの策定と支援、人材の登用方針の策定

5. 実証事業の第一弾のトライアルの成果と状況

N T T 西日本のグループが持つ ICT ソリューションを活用しながら、障がいのある人がメダカのスマート養殖や販売トライアルに従事しています。

2022年度から次の3項目に重点を置き、実証を行っています。

(1) ICTを活用したメダカの養殖（スマート養殖トライアル）

品種は30品種で、養殖開始時60匹だったものが、ICT利活用による養殖環境の安定化、養殖工程のデジタルマニュアルの整備により、1,500匹に増えています。

(2) 障がいのある人の就業環境の整備・就業促進（障がいのある人の就業トライアル）

障がいのある人を5名雇用し、就労者の日報作成支援と併せて健康状態や心理的な気づきを見える化する「成長支援システム」を導入しています。

(3) 販売モデルの確立（販売トライアル）

メダカと水槽のリースと定期メンテナンスをセットにした定額制販売モデル（サブスクリプション型ビジネスモデル）に加えて、

- ・2023年3月、メダカの様子や生産者の想いをWEBで消費者に伝えながら販売する「ライブコマース」を実施し、好評のうちに終了
- ・2023年4月からは、地域の特産品として「ふるさと納税」の返礼品へ出品

にも取り組み、販売モデルの確立をめざします。

*ニュースリリースに記載されている情報は、発表時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。